

平成20年度 教育委員会主要施策

北九州市教育委員会では、学校、家庭、地域（企業を含む）が一体となって子どもをはぐくむ仕組みの中で、次代を担う子どもたちの健やかな成長の実現を目指し、計画的に教育行政を推進しています。

平成20年度は、安全・安心な環境のもと、子どもの「確かな学力」や「豊かな人間性」「健康と体力」をはぐくむとともに、すべての市民が生き生きと学びあえる学習社会の実現に向け、下記の施策に取り組みます。

確かな学力と体力の向上

子どもの特性を伸ばす

学校の力をさらに高める

学校や地域の教育活動を市民の力で支える

心の育ちの推進

特別支援教育の充実

安全・安心な学校環境の整備

生涯学習の推進

市民の健康づくり

芸術・文化・スポーツをとおした潤いのある空間や賑わいの創出

身近で、質の高い生活空間の整備

「子どもの未来をひらく教育改革会議」
での議論の視点

平成20年度 教育予算の概要

子どもの未来をひらく教育改革会議

本市教育のさらなる発展のため、10年後の本市の教育のあり方を見据え、本市が抱える課題の解決のみならず、「より高い概念」、「先進的」あるいは「北九州らしい」取り組みなど、具体的、実践的な議論を行う。

子どもの成長を支える教育

確かな学力と体力の向上

子どもたちが、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力といった確かな学力を身に付けるため、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着に加え、少人数学級や少人数指導のための講師の配置などに取り組む。

また、子どもたちがたくましく生きるための基礎となる健康づくりや体力アップを推進する。さらに、知育、徳育、体育の基礎となる食育について、食育推進計画を策定するとともに、食育の観点から中学校完全給食のあり方を検証する。

・ 学力向上推進事業	17,400千円
・ 学校支援のための市費講師配置事業	377,305千円
・ 35人以下学級の実施	137,574千円
・ 新理科支援員配置事業	19,669千円
・ 新体力アップ推進事業	20,200千円
・ 食育推進事業	4,500千円
・ 中学校完全給食モデル事業	61,200千円
・ 部活動振興事業	58,985千円
・ 地域等における子どもの健康・体力づくり	37,322千円

子どもの特性を伸ばす

子どもの優れた才能や特性をさらに伸ばすため、文化・体育活動を支援するとともに、博物館や美術館での学びの機会を提供する。

・ 部活動振興事業(再掲)	58,985千円
・ 文化・体育行事補助	33,750千円
・ 北九州市立高等学校学生寮及び奨学金事業	32,073千円
・ 地域等における子どもの健康・体力づくり(再掲)	37,322千円
・ 博物館セカンドスクール事業	2,625千円
・ 美術館わくわくアートミュージアム	3,250千円

学校の力をさらに高める

学校の教育力が最大限に発揮できるよう、教科研究の拠点校づくりや各学校が抱える課題への対応のために、市費講師の配置や学校支援チームなどに取り組むとともに、教員の負担感の軽減や資質の向上を図る。

・ 学校支援のための市費講師配置事業(再掲)	377,305千円
------------------------	-----------

・ 教育研究活動の拠点校づくり(学校大好きオンリーワン事業)	4,000千円
・ 教員の資質向上(教員の指導力向上研修事業、優秀な教員の表彰)	7,908千円
・ 学校支援チーム(一部再掲)	1,020千円

学校や地域の教育活動を市民の力で支える

市民全体で、子どもたちをはぐくんでいこうという機運の醸成と地域の教育力の向上のため、スクールヘルパーの配置、家庭・地域・学校パートナーシップ事業など学校や地域での教育活動を市民の協力のもとに推進する。

・ 元気な子どもをはぐくむ地域・学校連携事業(スクールヘルパーの配置)	68,847千円
・ 学校における学生ボランティア活用事業	1,045千円
・ 家庭・地域・学校パートナーシップ事業	10,429千円
・ 学校施設ふれあい事業	90,000千円

心の育ちの推進

自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性や社会性を育むため、子どもの道徳性を育成する心の教育を推進する。

また、いじめや不登校といった生徒指導上の諸問題の解決を図るため、少年サポートチームやクールカウンセラーを配置するなど、子どもたちの健やかな成長を支援する。

・ キャリア教育推進事業	1,760千円
・ 心の教育推進事業	10,620千円
・ いじめ対策のための市費講師配置事業	47,098千円
・ 少年サポートチーム推進事業	26,153千円
・ 新スクールソーシャルワーカー活用事業	10,000千円
・ スクールカウンセラーの配置	148,400千円

特別支援教育の充実

近年増加傾向にある軽度発達障害をはじめとする特別な教育的配慮が必要な子どもたちを支援するために障害のある児童生徒の社会参加促進事業、特別支援教育担当者育成研修などに取り組む。

・ 障害のある児童生徒の社会参加促進事業	15,500千円
・ 特別支援学校における緊急時対応体制整備事業	9,500千円
・ 特別支援教育サポート事業	4,813千円

安全・安心な学校環境の整備

安全・安心で地域に開かれた学校づくりを目指し、学校施設の計画的な耐震化や中学校での教室暖房、小中学校へのAEDの設置などに取り組む。

・ 小中学校改築事業(老朽校舎の建替え等)	4,832,900千円 (債務負担 781,000千円)
・ 学校施設ふれあい事業(再掲)	90,000千円
・ さわやかトイレ整備事業	711,600千円
・ 学校施設耐震補強	230,400千円
・ 新中学校教室暖房設置	250,000千円

- ・ AED(自動体外式除細動器)の導入 42,000千円

市民の健康と生きがいづくり

生涯学習の推進

市民の豊かで充実した生涯設計において、「いつでも、どこでも、だれでも」が気軽に学びを継続するための学習機会や学習情報を提供するとともに、地域活動を支援する生涯学習推進コーディネーターの養成などに取り組む。

- ・ 生涯学習推進コーディネーター配置事業 8,929千円
- ・ 生涯学習活動促進事業 22,572千円

市民の健康づくり

市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進めるため、各種のスポーツ教室や大会の開催に取り組み、本市のスポーツの振興及び市民の健康づくりを推進する。

- ・ 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 5,359千円
- ・ 市民参加型スポーツイベント 12,150千円

芸術・文化・スポーツをとおした潤いのある空間や賑わいの創出

市民の地域に対する「愛着」や「誇り」を醸成するため、美術館等において魅力ある企画展を開催するとともに、全国的なイベントの開催や市民チームを育成支援するなど、芸術・文化やスポーツを通じて、潤いのある空間の提供と賑わいを創出する。

- ・ 新ジョン・エヴァレット・ミレイ展事業 26,000千円
- ・ (仮称)松本清張生誕100年記念事業 20,000千円
- ・ 新文学館開館2周年記念特別講演会 1,500千円
- ・ 市民チーム育成支援事業 50,000千円
- ・ 全国高等学校選抜自転車競技大会開催 3,000千円

身近で、質の高い生活空間の整備

市民誰もが気軽にスポーツを楽しんだり、学んだりできるよう社会教育施設のバリアフリー化などの整備に取り組む。

- ・ 体育施設や図書館のバリアフリー化 38,718千円
- ・ 若松運動場改修 18,000千円
- ・ 新公認グラウンドゴルフ場整備調査 2,000千円
- ・ 新(仮称)島郷市民センター外複合公共施設整備事業 46,900千円

教育委員会所管分のみ (債務負担 64,000千円)

人権教育の推進

「人権文化のまちづくり」に向けて、地域、家庭、学校、職場等あらゆる場と機会をとおり、人権教育を推進する。

- ・ 人権教育の推進 73,724千円